



平成 24 年 6 月 15 日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社セラーテムテクノロジー

代 表 者 名 代表取締役社長 池田 修

(コード番号 4330 大証 JASDAQ 市場)

本 社 所 在 地 東京都中央区日本橋本石町 3-1-2

(訂正・数値データ訂正あり) 「平成 23 年 6 月期 第 2 四半期決算短信」の訂正について

平成 24 年 6 月 15 日付当社適時開示「過年度決算の訂正の概要に関するお知らせ」のとおり、当社の第 15 期第 2 四半期（自平成 21 年 7 月 1 日 至平成 21 年 12 月 31 日）から第 17 期第 2 四半期（自平成 23 年 7 月 1 日 至平成 23 年 12 月 31 日）までの決算短信等の訂正を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

訂正を行う決算短信等

「平成 23 年 6 月期 第 2 四半期決算短信」

訂正事項が多数に及ぶことから訂正個所については、訂正後のみ____線で示したうえ、参考として訂正前の全文を添付しております。

以上

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社セラーテムテクノロジー IR 担当 TEL: 03-6820-0740

【訂正後】

平成23年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成23年1月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社セラーテムテクノロジー

コード番号 4330 URL <http://www.celartem.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 修

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 宮永 浩明

四半期報告書提出予定日 平成23年2月8日

TEL 03-6820-0740

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年6月期第2四半期の連結業績(平成22年7月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第2四半期	3,393	70.4	742	41.6	765	40.1	726	49.1
22年6月期第2四半期	1,991	88.2	581	—	603	—	544	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第2四半期	2,924.70	2,840.04
22年6月期第2四半期	3,985.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
23年6月期第2四半期	百万円 5,195	百万円 3,854	% 72.9	円 銭 15,218.78
22年6月期	4,523	3,265	71.2	12,975.58

(参考) 自己資本 23年6月期第2四半期 3,789百万円 22年6月期 3,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
22年6月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
23年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年6月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年6月期の連結業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益				
通期	百万円 7,200	% 57.4	百万円 1,610	% 51.5	百万円 1,720	% 49.7	百万円 1,600	% 54.7	円 銭 1,286.40

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年6月期2Q	248,995株	22年6月期	248,307株
---------------------	----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数	23年6月期2Q	一株	22年6月期	一株
-----------	----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年6月期2Q	248,520株	22年6月期2Q	136,544株
------------------	----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手續が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載された連結業績予想数値は、現在時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 繼続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 繼続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(事業の内容について)



当社グループは、日本、米国、欧州、中国に拠点を置き、グローバルな展開を行っております。

親会社である株式会社セラーテムテクノロジーは、ヘッド・オフィス（HQ）部門が連結子会社のコントロールを通じ、連結グループ全体の経営を行うとともに、日本事業部門がECサイト向け画像自動編集・配信事業を行っております。

米国子会社であるセラーテム・インクは、デジタルコンテンツの保存、制作、管理、複製、配信、共有などに関するソフトウェアの基礎技術および製品の開発を行うとともに全世界に対し製品販売を行っております。

英国资子会社であるセラーテム・ヨーロッパは、欧州全域において、セラーテム・インク製品の販売促進活動を開しております。

中国子会社である北京誠信は、中国国内における公共施設、商工業施設などをターゲットに、IT技術及びソフトウェアを駆使した省エネコンサルティング、スマートグリッドやソフトウェア開発などの省エネITサービス事業を開催しております。

中国子会社である科信能環は、中国国内における火力発電所や製鉄所などをターゲットとした大型の省エネITサービス事業を行っております。

(業績の状況)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国の需要回復等を背景に景気下支えにより企業収益の改善が見られるものの、欧州経済不安、米国経済の減速や円高による輸出関連企業の業績悪化などの景気下振れリスクが存在し、雇用情勢も新卒の就職内定率が過去最低を記録するなど、景気に対する不透明感が依然払拭されておりません。当社グループの主要市場の一つである北米においても景気の回復は見えておらず、企業のIT投資の抑制傾向が長期間続いております。一方、当社グループの主要市場の一つである中国においては、旺盛な消費と高い経済成長がみられます。

このような経営環境下において、当社グループでは、前連結会計年度で確立した米国と中国の2大プロフィットセンターという営業黒字体制を維持し、当連結会計年度においても、さらなる成長を図れるよう、堅実な事業展開を行っております。

当第2四半期連結累計期間につきましては、当社の想定を上回る継続的な円高など、海外売上高が99%を占める当社にとって厳しい経営環境の中、第1四半期に発売した個人向けフォント管理ソフトウェア「Suitcase Fusion 3」および米国政府向け地理情報システムビジネスが、想定を上回る売上となり、当社米国子会社である Celarterm, Inc. の業績が当初の予想を上回りました。また、当社中国子会社である北京誠信能環科技有限公司においても、既存事業である省エネ事業に関して業績が堅調に推移し、また、新規事業であるスマートグリッド関連事業においても大型案件工事を受注し、契約通りに工事が進捗いたしました。

これら売上高が増加する一方、コストセンターである本社ヘッド・クオーター部門においても、引き続き徹底したコスト管理を行うなど、効率的な経営を行っており、当社グループは当第2四半期連結累計期間においても、堅調に営業黒字を積み重ねております。経常利益、四半期純利益の段階において、継続的な円高基調による為替差損等の損失が発生したものの、有価証券売却益等の利益により、黒字幅を増加する結果となりました。

以上の結果、当社グループの連結業績は、売上高が3,393百万円（対前年同期比70.4%増）、営業利益が742百万円（前年同期581百万円）、経常利益が765百万円（前年同期603百万円）及び純利益が726百万円（前年同期544百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

日本は、日本市場に向けてECサイト向け画像自動編集・配信ソフトの販売活動を行っております。当第2四半期連結累計期間において売上高は19百万円となりました。営業利益は2百万円となりました。なお、前期において日本セグメントに計上されていたヘッド・クオーター部門（米中欧の連結子会社のコントロールを通じ、連結グループ全体の経営を行う部門）に係る費用147百万円は、当第2四半期連結累計期間より全社費用として調整額に計上されており、日本セグメントから除外されております。

②北米

100%連結子会社である米国セラーテム・インクが、オレゴン州ポートランドを拠点とするExtensis部門とワシントン州シアトルを拠点とするLizardTech部門を有し、全世界にソフトウェアの販売を行っております。当第2四半期連結累計期間において売上高はセグメント間の内部売上高を含めて913百万円となりました。営業利益は216百万円となりました。

③欧州

100%連結子会社であるセラーテム・ヨーロッパが英国ノースハンプトンを拠点に欧州市場全体に米国セラーテム・インク製品の販売促進活動を行っております。当第2四半期連結累計期間において売上高はセグメント間の内部売上高を含めて59百万円となりました。営業利益は12百万円となりました。

④中国

100%連結子会社である北京誠信、科信能環などが中国北京市を拠点として、中国市場に省エネITサービス事業を開拓しております。当第2四半期連結累計期間において売上高は2,461百万円、営業利益はセグメント間の内部費用負担を含めて546百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債・純資産の状況)

当第2四半期連結累計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べて23.3%増加し、4,758百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が254百万円、前渡金が203百万円増加したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて34.4%減少し、436百万円となりました。これは投資有価証券が182百万円減少したことなどによります。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて14.8%増加し、5,195百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、5.5%増加し、1,326百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が58百万円、前受金が67百万円増加したことなどによります。

固定負債は、14百万円となりました。これは長期未払金が12百万円増加したことなどによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、18.0%増加し、3,854百万円となりました。これは、四半期純利益726百万円を計上したことなどによります。なお、平成22年9月15日開催の定時株主総会において、資本政策上の柔軟性や機動性を確保することを目的とする無償減資を行っており、これにより資本金が2,186百万円、資本剰余金が4,314百万円減少し、この全額が利益剰余金に振替えられております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、当第2四半期連結累計期間において282百万円増加し、2,753百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、241百万円(前年同期460百万円)となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益774百万円、売上債権の増加289百万円、たな卸資産の増加98百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、179百万円(前年同期11百万円の使用)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出24百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出587百万円、有価証券及び投資有価証券の売却による収入787百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、8百万円(前年同期88百万円の使用)となりました。

主な要因は、ストックオプション行使に伴う株式発行による収入8百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年6月期の連結業績予想につきましては、平成23年1月17日に公表した数値からの変更はありません。今後、業績予想の見直しの必要性が生じた場合は、速やかに業績予想の修正に関するお知らせを発表いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によつております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結累計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響額はありません。

(4) 繙続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,753,396	2,470,972
受取手形及び売掛金	693,250	439,052
たな卸資産	※1 808,571	※1 755,143
前渡金	210,859	7,763
前払費用	19,764	41,436
その他	274,959	146,559
貸倒引当金	△1,938	△2,225
流動資産合計	4,758,862	3,858,701
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	114,466	140,912
機械装置及び運搬具（純額）	140,657	129,252
有形固定資産合計	※2 255,123	※2 270,165
無形固定資産		
特許権	9,066	8,841
ソフトウェア	70,900	86,351
その他	506	506
無形固定資産合計	80,473	95,699
投資その他の資産		
投資有価証券	0	182,736
長期前払費用	1,723	2,076
長期貸付金	100,252	106,920
差入保証金	89,599	101,790
供託金	9,304	9,872
繰延税金資産	—	2,462
貸倒引当金	△100,252	△106,920
投資その他の資産合計	100,627	298,937
固定資産合計	436,223	664,802
資産合計	5,195,086	4,523,504

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成22年12月31日)前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成22年6月30日)

負債の部

流動負債

支払手形及び買掛金	218,040	159,091
未払金及び未払費用	259,339	295,012
未払法人税等	43,072	28,844
前受金	383,824	315,997
前受収益	403,199	420,593
返品調整引当金	540	781
その他	18,504	37,572
流動負債合計	1,326,521	1,257,892

固定負債

リース債務	1,367	—
長期未払金	12,843	—
固定負債合計	14,210	—

負債合計

1,340,731 1,257,892

純資産の部

株主資本

資本金	2,575,027	4,755,989
資本剰余金	5,689	4,314,188
利益剰余金	<u>1,471,339</u>	<u>△5,756,345</u>
株主資本合計	<u>4,052,056</u>	<u>3,313,832</u>

評価・換算差額等

その他有価証券評価差額金	—	△4,560
為替換算調整勘定	<u>△262,656</u>	<u>△87,345</u>
評価・換算差額等合計	<u>△262,656</u>	<u>△91,905</u>

新株予約権

少数株主持分

純資産合計

負債純資産合計	5,195,086	4,523,504
---------	-----------	-----------

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	1,991,124	3,393,862
売上原価	979,904	1,481,273
売上総利益	1,011,219	1,912,589
販売費及び一般管理費	※1 429,565	※1 1,170,324
営業利益	581,653	742,264
営業外収益		
受取利息及び配当金	8,953	12,908
有価証券売却益	—	16,047
投資有価証券売却益	—	4,014
受取研究奨励金	12,530	—
その他	—	4,426
営業外収益合計	21,483	37,396
営業外費用		
為替差損	49	6,446
投資有価証券売却損	—	7,773
その他	—	43
営業外費用合計	49	14,262
経常利益	603,087	765,398
特別利益		
前期損益修正益	—	9,447
新株予約権戻入益	—	62
債務免除益	10,759	—
特別利益合計	10,759	9,509
特別損失		
関係会社株式売却損	28,203	—
特別損失合計	28,203	—
税金等調整前四半期純利益	585,644	774,908
法人税、住民税及び事業税	40,434	47,934
法人税等合計	40,434	47,934
少数株主損益調整前四半期純利益	545,209	726,973
少数株主利益	999	128
四半期純利益	544,209	726,845

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	585,644	774,908
減価償却費	16,184	50,642
<u>債務免除益</u>	△10,759	—
新株予約権戻入益	—	△62
<u>関係会社株式売却損</u>	28,203	—
有価証券及び投資有価証券売却損益（△は益）	—	△12,288
為替差損益（△は益）	—	2,690
貸倒引当金の増減額（△は減少）	—	△113
受取利息及び受取配当金	△8,953	△12,908
前期損益修正損益（△は益）	—	9,447
売上債権の増減額（△は増加）	△62,335	△289,393
たな卸資産の増減額（△は増加）	△290,907	△98,915
仕入債務の増減額（△は減少）	65,945	69,759
その他	148,702	△234,934
小計	471,724	258,831
利息及び配当金の受取額	8,953	12,908
法人税等の支払額	△20,592	△30,699
営業活動によるキャッシュ・フロー	460,085	241,040
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,205	△24,562
無形固定資産の取得による支出	△79,186	△2,050
長期前払費用の取得による支出	—	△110
差入保証金の回収による収入	—	6,832
定期預金の増減額	△6,800	—
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	—	△587,745
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	—	787,330
<u>関係会社株式の売却による収入</u>	106,097	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,096	179,694
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	—	△99
<u>配当金の支払額</u>	△180,680	—
株式の発行による収入	91,711	8,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,969	8,531
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,091	△146,842
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	338,927	282,424
現金及び現金同等物の期首残高	543,780	2,470,972
<u>株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額</u>	1,165,086	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 2,047,794	※1 2,753,396

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 平成21年12月31日）

企業結合会計上の逆取得の結果、当社グループは省エネ環境関連事業並びにこれらに付帯する業務の単一事業となります。したがって、開示対象となるセグメントがありませんので、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 平成21年12月31日）

企業結合会計上の逆取得の結果、当社グループは中国国内でのみ業務を行っており、開示対象となるセグメントがありませんので、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 至平成21年12月31日）

企業結合会計上の逆取得の結果、当社グループは中国での売上が100%となっており、開示対象となるセグメントがありませんので、記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結累計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、日本にヘッド・オフィス部門を置き、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、日本本社の他、米国、英国、中国に重要な現地法人を置いて事業活動を展開しております。日本国内においては当社セラーテムテクノロジーの事業部門が、米国、カナダといった北米地域においてはセラーテム・インクが、英国、フランス、ドイツといった欧州地域においてはセラーテム・ヨーロッパが、中国においては北京誠信、科信能環などの中国子会社が、それぞれ独立した経営単位として各地域における事業活動を展開しております。そのため、当社は「日本」、「北米」、「欧州」及び「中国」という4つの地域を基礎とした報告セグメントを有し、グローバル戦略に関する重要な意思決定を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年7月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

	日本	北米	欧州	中国	計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	19,311	913,401	—	2,461,149	3,393,862	—	3,393,862
(2) セグメント間取引	—	—	59,269	—	59,269	△59,269	—
計	19,311	913,401	59,269	2,461,149	3,453,132	△59,269	3,393,862
セグメント利益または損失 (△)	2,058	216,365	12,145	546,616	777,185	△34,920	742,264

(注) セグメント利益の調整額△34,920千円には、セグメント間取引消去77,899千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△112,819千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しないヘッド・オフィス部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年9月15日開催の定時株主総会において、資本政策上の柔軟性や機動性を確保することを目的とする無償減資を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が2,186,650千円、資本準備金が4,314,188千円減少し、この減少額6,500,839千円と同額利益剰余金が増加しております。

また、ストック・オプションの権利行使により、資本金が5,689千円、資本準備金が5,689千円増加しております。

これらにより、当第2四半期連結累計期間末において資本金が2,575,027千円、資本剰余金が5,689千円、利益剰余金が1,471,339千円となっております。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間
(自 平成22年7月1日
至 平成22年12月31日)

平成22年11月22日開催の当社取締役会の決議に基づき、次のように株式分割による新株式を発行しております。

平成23年1月1日をもって普通株式1株につき5株に分割します。

(1) 分割により増加する株式数

普通株式 995,980株

(2) 分割方法

平成22年12月31日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有株式数を、1株につき5株の割合をもって分割します。

当該株式分割が前連結会計年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報及び当連結会計年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりとなります。

1株当たり純資産額

当第2四半期連結累計期間末	前連結会計年度末
3,043.75円	2,595.11円

1株当たり四半期純利益金額等

前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
1株当たり四半期純利益金額 797.12円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 584.94円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 568.00円

【訂正前】

平成23年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成23年1月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社セラーテムテクノロジー

コード番号 4330 URL <http://www.celartem.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 修

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 宮永 浩明

TEL 03-6820-0740

四半期報告書提出予定日 平成23年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年6月期第2四半期の連結業績(平成22年7月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第2四半期	3,393	285.1	742	715.4	800	875.6	762	876.9
22年6月期第2四半期	881	△16.7	91	—	82	—	78	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第2四半期	3,067.46	2,978.67
22年6月期第2四半期	578.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第2四半期	5,195	3,570	67.5	14,078.87
22年6月期	4,523	2,946	64.2	11,689.63

(参考) 自己資本 23年6月期第2四半期 3,505百万円 22年6月期 2,902百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
22年6月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
—	—	0.00	—	0.00	0.00
23年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年6月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年6月期の連結業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益				
通期	百万円 7,200	% 108.0	百万円 1,610	% 182.0	百万円 1,720	% 159.8	百万円 1,600	% 165.3	円 銭 1,286.40

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年6月期2Q	248,995株	22年6月期	248,307株
---------------------	----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数	23年6月期2Q	一株	22年6月期	一株
-----------	----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年6月期2Q	248,520株	22年6月期2Q	136,544株
------------------	----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手續が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載された連結業績予想数値は、現在時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 繼続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 繼続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(事業の内容について)



当社グループは、日本、米国、欧州、中国に拠点を置き、グローバルな展開を行っております。

親会社である株式会社セラーテムテクノロジーは、ヘッド・オフィス(HQ)部門が連結子会社のコントロールを通じ、連結グループ全体の経営を行うとともに、日本事業部門がECサイト向け画像自動編集・配信事業を行っております。

米国子会社であるセラーテム・インクは、デジタルコンテンツの保存、制作、管理、複製、配信、共有などに関するソフトウェアの基礎技術および製品の開発を行うとともに全世界に対し製品販売を行っております。

英国子会社であるセラーテム・ヨーロッパは、欧州全域において、セラーテム・インク製品の販売促進活動を開しております。

中国子会社である北京誠信は、中国国内における公共施設、商工業施設などをターゲットに、IT技術及びソフトウェアを駆使した省エネコンサルティング、スマートグリッドやソフトウェア開発などの省エネITサービス事業を開しております。

中国子会社である科信能環は、中国国内における火力発電所や製鉄所などをターゲットとした大型の省エネITサービス事業を行っております。

(業績の状況)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国の需要回復等を背景に景気下支えにより企業収益の改善が見られるものの、欧州経済不安、米国経済の減速や円高による輸出関連企業の業績悪化などの景気下振れリスクが存在し、雇用情勢も新卒の就職内定率が過去最低を記録するなど、景気に対する不透明感が依然払拭されておりません。当社グループの主要市場の一つである北米においても景気の回復は見えておらず、企業のIT投資の抑制傾向が長期間続いております。一方、当社グループの主要市場の一つである中国においては、旺盛な消費と高い経済成長がみられます。

このような経営環境下において、当社グループでは、前連結会計年度で確立した米国と中国の2大プロフィットセンターという営業黒字体制を維持し、当連結会計年度においても、さらなる成長を図れるよう、堅実な事業展開を行っております。

当第2四半期連結累計期間につきましては、当社の想定を上回る継続的な円高など、海外売上高が99%を占める当社にとって厳しい経営環境の中、第1四半期に発売した個人向けフォント管理ソフトウェア「Suitcase Fusion 3」および米国政府向け地理情報システムビジネスが、想定を上回る売上となり、当社米国子会社である Celartem, Inc. の業績が当初の予想を上回りました。また、当社中国子会社である北京誠信能環科技有限公司においても、既存事業である省エネ事業に関して業績が堅調に推移し、また、新規事業であるスマートグリッド関連事業においても大型案件工事を受注し、契約通りに工事が進捗いたしました。

これら売上高が増加する一方、コストセンターである本社ヘッド・オフィス部門においても、引き続き徹底したコスト管理を行なうなど、効率的な経営を行なっており、当社グループは当第2四半期連結累計期間においても、堅調に営業黒字を積み重ねております。経常利益、四半期純利益の段階において、継続的な円高基調による為替差損等の損失が発生したもの、有価証券売却益等の利益により、黒字幅を増加する結果となりました。

以上の結果、当社グループの連結業績は、売上高が3,393百万円（対前年同期比285.1%増）、営業利益が742百万円（前年同期91百万円）、経常利益が800百万円（前年同期82百万円）及び純利益が762百万円（前年同期78百万円）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の数値が前第2四半期連結累計期間より大幅に増加している理由は、前第2四半期連結累計期間末（平成21年12月31日）に、買収により中国企業を100%連結子会社化し、中国市場、省エネITサービス事業に参入したためであります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

日本は、日本市場に向けてECサイト向け画像自動編集・配信ソフトの販売活動を行なっております。当第2四半期連結累計期間において売上高は19百万円（前年同期比42.7%増）となりました。営業利益は2百万円（前年同期は営業損失104百万円）となりました。なお、前期において日本セグメントに計上されていたヘッド・オフィス部門（米中欧の連結子会社のコントロールを通じ、連結グループ全体の経営を行う部門）に係る費用147百万円は、当第2四半期連結累計期間より全社費用として調整額に計上されており、日本セグメントから除外されております。

②北米

100%連結子会社である米国セラーテム・インクが、オレゴン州ポートランドを拠点とするExtensis部門とワシントン州シアトルを拠点とするLizardTech部門を有し、全世界にソフトウェアの販売を行なっております。当第2四半期連結累計期間において売上高はセグメント間の内部売上高を含めて913百万円（前年同期比5.2%増）となりました。営業利益は216百万円（前年同期は138百万円）となりました。

③欧州

100%連結子会社であるセラーテム・ヨーロッパが英国ノースハンプトンを拠点に欧州市場全体に米国セラーテム・インク製品の販売促進活動を行なっております。当第2四半期連結累計期間において売上高はセグメント間の内部売上高を含めて59百万円（前年同期比1.0%減）となりました。営業利益は12百万円（前年同期は10百万円）となりました。

④中国

100%連結子会社である北京誠信、科信能環などが中国北京市を拠点として、中国市場に省エネITサービス事業を開拓しております。当第2四半期連結累計期間において売上高は2,461百万円、営業利益はセグメント間の内部費用負担を含めて546百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債・純資産の状況)

当第2四半期連結累計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べて23.3%増加し、4,758百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が254百万円、前渡金が203百万円増加したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて34.4%減少し、436百万円となりました。これは投資有価証券が182百万円減少したことなどによります。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて14.8%増加し、5,195百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、5.5%増加し、1,326百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が58百万円、前受金が67百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、6.7%減少し、298百万円となりました。これは負ののれんが35百万円減少したことなどによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、21.2%増加し、3,570百万円となりました。これは、四半期純利益762百万円を計上したことなどによります。なお、平成22年9月15日開催の定期株主総会において、資本政策上の柔軟性や機動性を確保することを目的とする無償減資を行なっており、これにより資本金が2,186百万円、資本剰余金が4,314百万円減少し、この全額が利益剰余金に振替えられております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、当第2四半期連結累計期間において282百万円増加し、2,753百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、241百万円(前年同期124百万円)となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益810百万円、売上債権の増加289百万円、たな卸資産の増加98百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、179百万円(前年同期407百万円の使用)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出24百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出587百万円、有価証券及び投資有価証券の売却による収入787百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、8百万円(前年同期1,799百万円)となりました。

主な要因は、ストックオプション行使に伴う株式発行による収入8百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年6月期の連結業績予想につきましては、平成23年1月17日に公表した数値からの変更はありません。今後、業績予想の見直しの必要性が生じた場合は、速やかに業績予想の修正に関するお知らせを発表いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結累計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響額はありません。

(4) 繙続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	2,753,396	2,470,972
受取手形及び売掛金	693,250	439,052
たな卸資産	808,571	755,143
前渡金	210,859	7,763
前払費用	19,764	41,436
その他	274,959	146,559
貸倒引当金	△1,938	△2,225
流动資産合計	4,758,862	3,858,701
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	114,466	140,912
機械装置及び運搬具（純額）	140,657	129,252
有形固定資産合計	255,123	270,165
無形固定資産		
特許権	9,066	8,841
ソフトウエア	70,900	86,351
その他	506	506
無形固定資産合計	80,473	95,699
投資その他の資産		
投資有価証券	0	182,736
長期前払費用	1,723	2,076
長期貸付金	100,252	106,920
差入保証金	89,599	101,790
供託金	9,304	9,872
繰延税金資産	—	2,462
貸倒引当金	△100,252	△106,920
投資その他の資産合計	100,627	298,937
固定資産合計	436,223	664,802
資産合計	5,195,086	4,523,504

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	218,040	159,091
未払金及び未払費用	259,339	295,012
未払法人税等	43,072	28,844
前受金	383,824	315,997
前受収益	403,199	420,593
返品調整引当金	540	781
その他	18,504	37,572
流動負債合計	1,326,521	1,257,892
固定負債		
負ののれん	283,830	319,309
リース債務	1,367	—
長期未払金	12,843	—
固定負債合計	298,041	319,309
負債合計	1,624,562	1,577,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,575,027	4,755,989
資本剰余金	5,689	4,314,188
利益剰余金	1,434,057	△5,829,106
株主資本合計	4,014,774	3,241,071
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△4,560
為替換算調整勘定	△509,205	△333,894
評価・換算差額等合計	△509,205	△338,454
新株予約権	57,482	35,648
少数株主持分	7,471	8,036
純資産合計	3,570,523	2,946,302
負債純資産合計	5,195,086	4,523,504

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	881,627	3,393,862
売上原価	24,755	1,481,273
売上総利益	856,872	1,912,589
販売費及び一般管理費	765,501	1,170,324
営業利益	91,370	742,264
営業外収益		
受取利息及び配当金	285	12,908
有価証券売却益	5,890	16,047
投資有価証券売却益	—	4,014
負ののれん償却額	—	35,478
その他	1,448	4,426
営業外収益合計	7,624	72,875
営業外費用		
為替差損	8,125	6,446
投資有価証券売却損	—	7,773
株式交付費	8,868	—
その他	—	43
営業外費用合計	16,993	14,262
経常利益	82,001	800,877
特別利益		
前期損益修正益	—	9,447
新株予約権戻入益	—	62
特別利益合計	—	9,509
特別損失		
特約付定期預金解約損	2,257	—
特別損失合計	2,257	—
税金等調整前四半期純利益	79,744	810,387
法人税、住民税及び事業税	761	47,934
法人税等合計	761	47,934
少数株主損益調整前四半期純利益	78,982	762,452
少数株主利益	—	128
四半期純利益	78,982	762,324

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	79,744	810,387
減価償却費	26,000	50,642
特約付定期預金解約損	2,257	—
負ののれん償却額	—	△35,478
新株予約権戻入益	—	△62
有価証券及び投資有価証券売却損益（△は益）	△5,890	△12,288
為替差損益（△は益）	428	2,690
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△309	△113
受取利息及び受取配当金	△285	△12,908
前期損益修正損益（△は益）	—	9,447
売上債権の増減額（△は増加）	△9,869	△289,393
たな卸資産の増減額（△は増加）	—	△98,915
仕入債務の増減額（△は減少）	△10,566	69,759
その他	44,376	△234,934
小計	125,886	258,831
利息及び配当金の受取額	285	12,908
法人税等の支払額	△1,688	△30,699
営業活動によるキャッシュ・フロー	124,483	241,040
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,009	△24,562
無形固定資産の取得による支出	△2,198	△2,050
長期前払費用の取得による支出	△196	△110
差入保証金の回収による収入	22,428	6,832
差入保証金の差入による支出	△7,048	—
定期預金の払戻による収入	297,742	—
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△64,200	△587,745
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	70,090	787,330
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△723,265	—
その他	9,939	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△407,717	179,694
財務活動によるキャッシュ・フロー		
転換社債の発行による収入	120,000	—
リース債務の返済による支出	—	△99
株式の発行による収入	1,679,675	8,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,799,675	8,531
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,967	△146,842
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,509,473	282,424
現金及び現金同等物の期首残高	538,321	2,470,972
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,047,794	2,753,396

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 平成21年12月31日）

当社グループはソフトウェア関連事業並びにこれらに付帯する業務の単一事業であります。したがって、開示対象となるセグメントがありませんので、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 平成21年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	13,530	868,097	—	—	881,627	—	881,627
(2) セグメント間の内部売上高	—	244	59,851	—	60,096	△60,096	—
計	13,530	868,341	59,851	—	941,724	△60,096	881,627
営業費用	117,758	729,720	49,051	—	896,530	△106,273	790,256
営業利益又は 営業損失(△)	△104,277	138,621	10,799	—	45,193	46,177	91,370

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

北米………米国

欧州………イギリス

アジア……韓国

なお、韓国の拠点は平成20年12月をもって閉鎖されました。そのため、当第2四半期連結累計期間において、アジアのセグメントの活動はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 至平成21年12月31日）

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高(千円)	626,034	217,556	24,139	867,729
II 連結売上高(千円)	—	—	—	881,627
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	71.0	24.7	2.7	98.4

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

北米………米国、カナダ

欧州………フランス、イギリス他

その他……韓国、中国、台湾他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結累計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、日本にヘッド・オフィス部門を置き、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、日本本社の他、米国、英国、中国に重要な現地法人を置いて事業活動を展開しております。日本国内においては当社セラーテムテクノロジーの事業部門が、米国、カナダといった北米地域においてはセラーテム・インクが、英国、フランス、ドイツといった欧州地域においてはセラーテム・ヨーロッパが、中国においては北京誠信、科信能環などの中国子会社が、それぞれ独立した経営単位として各地域における事業活動を展開しております。そのため、当社は「日本」、「北米」、「欧州」及び「中国」という4つの地域を基礎とした報告セグメントを有し、グローバル戦略に関する重要な意思決定を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年7月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

	日本	北米	欧州	中国	計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	19,311	913,401	—	2,461,149	3,393,862	—	3,393,862
(2) セグメント間取引	—	—	59,269	—	59,269	△59,269	—
計	19,311	913,401	59,269	2,461,149	3,453,132	△59,269	3,393,862
セグメント利益または損失 (△)	2,058	216,365	12,145	546,616	777,185	△34,920	742,264

(注) セグメント利益の調整額△34,920千円には、セグメント間取引消去147,740千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△112,819千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しないヘッド・オフィス部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年9月15日開催の定時株主総会において、資本政策上の柔軟性や機動性を確保することを目的とする無償減資を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が2,186,650千円、資本準備金が4,314,188千円減少し、この減少額6,500,839千円と同額利益剰余金が増加しております。

また、ストック・オプションの権利行使により、資本金が5,689千円、資本準備金が5,689千円増加しております。

これらにより、当第2四半期連結累計期間末において資本金が2,575,027千円、資本剰余金が5,689千円、利益剰余金が1,434,057千円となっております。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間
(自 平成22年7月1日
至 平成22年12月31日)

平成22年11月22日開催の当社取締役会の決議に基づき、次のように株式分割による新株式を発行しております。
平成23年1月1日をもって普通株式1株につき5株に分割します。

(1) 分割により増加する株式数

普通株式 995,980株

(2) 分割方法

平成22年12月31日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有株式数を、1株につき5株の割合をもって分割します。

当該株式分割が前連結会計年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報及び当連結会計年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりとなります。

1株当たり純資産額

当第2四半期連結累計期間末	前連結会計年度末
2,815.77円	2,337.92円

1株当たり四半期純利益金額等

前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
1株当たり四半期純利益金額 115.68円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 613.49円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 595.73円